

# 多文化共生としての舞台芸術 2022

## 第5回 「イランの殉教劇(タァズィエ)と多文化の出会い」

2022年11月1日(火) 18:00~19:30

Zoomウェビナーによる開催

### ●内容

「カルバラーの悲劇」とよばれる、シーア派第3代イマームとその一族がカルバラー（現イラク）で無残に殺された（＝殉教した）事件は、教義上は救済のための宇宙論的なコンテクストに位置づけられ、その哀悼のための行事はシーア派信徒の社会生活において大きな意味を持っている。哀悼行事は、時代や場所によってきわめて多様なかたちをとってきたが、19世紀のイランでは演劇形式による哀悼行事（＝殉教劇）が広まった。いわゆる西洋のオリエンタリストが人種論もからめて殉教劇に着目したこと、1970年代には殉教劇の前衛的な手法が着目されたことなど、殉教劇がいかに多文化の出会いのところで評価され展開してきたかを考えたい。



撮影：Payam Moein

### ●講師

## 山岸 智子



文化論・イラン地域研究。1998年東京大学大学院より博士(学術)取得。1998年から明治大学政治経済学部専任教員、現在にいたる。1990-1992年は留学生として、2019-20年は客員研究員としてイランに滞在。博士論文『イマームたちの王国―殉教譚からのイラン文化論』、「史書・教書・殉教語り」（『歴史の文法』東京大学出版会所収）で殉教劇について論じる。翻訳監修に『イスラームとジェンダー』（明石書店）ほか。

一般公開・  
参加費無料  
事前申込制  
参加ご希望の方は  
下記のコードか  
本学webサイトから  
お申し込みください。



**司会** 山口 裕之（東京外国語大学教授）

**主催** 東京外国語大学 言語文化学部 **共催** 東京外国語大学 総合文化研究所

**お問い合わせ** 横山 綾香（アシスタント） yokoyama.ayaka.o0@tufs.ac.jp